

みなさんの声が市政へと届きま

市川市文化会館 市川市市民会館

市川市文化会館は建設されてから20年、市川市市民会館は50年経ちます。その間時代とともに会館に求める形態も変わり、市民の多く



「大ホール階段」



「思いやりトイレ」

の方達が利用する機会が増えてきました。

ハートビル法などもでき、「バリアフリー」という言葉も当たり前になった時代に合わせた建物に生まれ変わって行くべきではないでしょうか。文化会館の大ホールは階段を降りないとトイレに行かれましたが、1階の両脇に、社会的に弱者の方を優先的に使用するようにと

「思いやりトイレ」が設置されました。また、来年度にはこの急な階段の真ん中にも手すりが増える工事を予定しています。エレベーターの工事なども長期的な考えの中で整備することも考えています。市民会館も事務室右の入り口にスロープが付き車椅子でも入れ、ドアも自動ドアへと改善されました。また、舞台へもスロープであがれるようになりました。



「入口のスロープと事務系入口」

本八幡駅周辺の 駅前の自転車対策



「京成八幡駅前」



「JR本八幡駅前」



「アクス前の歩道」



「本八幡北口」



「パティオ前」

本八幡周辺は、ご存知のように三駅の結節点であり、一日に十万人以上の方達が利用しています。この環境の中で過去から自転

車の不法駐輪が大きな問題となっていました。民間の方達を中心に「八幡・自転車対策協議会」が発足し、自治会や商店会の方達で毎月のように会合を重ね、行政とともに自転車問題を話し合ってきました。そして、無料駐輪場の案内板を作ったり、不法駐輪車に警告の札を貼ったりして活動を続けています。駅周辺を車椅子で通れない街をどう思いますか？おかげさまで皆さんの協力により駅前周辺の自転車駐輪の状況が大きく変わってきたと思いませんか。もちろん駐輪場の増設も平行して続けて



「行徳街道線の歩道」

いますし、歩道を駐輪場にするように行政に訴え続けて、一時的な駐輪も可能な駅前になるようにも頑張っています。本八幡A地区の再開発が完成すると駐輪場が地下に1000台増える予定です。



「無料駐輪場の看板」

ました。（主なものをお知らせします）

八幡小学校前の通りの 交通対策



「菅野五号踏切」



「八幡小前の通り」



「八幡小前の通り」



「隅切り予定部分」

この通りは、テレビで何回もとり上げられた市道です。私もこの小学校の出身ですし、子どもも通わせていただき、いつも不安を抱いていました。PTAのときは校外交通委員の方達と黄色い旗を持って子ども達の安全のため頑張ってきました。議会でも何回も質問をさせていただき、グリーン之路側帯ができ、オレンジのボールで車と人と分けられるようにしたり、市川市では初めての社会実験も行い検証を続けています。この度、来年度の予算が通過をし地権者の方と合意に達すれば、この踏切の前後、お米やさんの隣の角の自動販売機が設置されているところと反対側の不動産屋さんとボタン屋さんのあとを市川市が買収して踏切の拡幅ができるようになります。菅野寄りに踏切が広がれば人が溜まる場所も作れ、歩道部と車道部も分離することが可能となり安全性には大きな一歩となります。また、八幡小の先の接骨院さんの向かい側の角の一部を市川市が買収して三角に隅切りをして、角を曲がる時に人が大きく回らないでも通れるように計画しています。もちろん京成線の連続立体化もあわせて要望しています。

公共施設案内板 （街のサインボード）の設置



「市民談話室前」



「JR本八幡駅前」

本八幡周辺は、市川市でももっとも公共施設が多い地域です。住んでいる方達は毎日の生活中で周辺を理解していますが、地域外から市役所や文化会館、市民会館など多くの方が利用する施設や、駅を降りてから各施設への方向を案内できるサインボードがありませんでした。知らない街に降りたときの不安を解決してくれる「公共施設案内板」これからはいろいろな形で増えてゆく計画です。



「市民談話室前」